

## 令和7年度 和歌山県立医科大学功績表彰式を執り行いました

令和8年3月18日、ホテルアバローム紀の国にて本学の中尾 直之 理事長から卒業生6名、教職員7名と5グループに表彰状と副賞をそれぞれ授与しました。

この表彰は、エバグリーン廣甚株式会社 様からの寄附により設立した「エバグリーン基金」をもとに、本学卒業生及び顕著な功績をあげた教職員を対象とする顕彰事業で、第5回の表彰式となりました。受賞関係者、学内関係者に加え、エバグリーン廣甚株式会社 代表取締役社長 米原まき 様、同社ファーマシー事業部 部長 服部 賢明 様にも臨席賜り、約30名が出席しました。



医学部に在籍した6年間又は保健看護学部部に在籍した4年間において、特に優秀な成績を修めた卒業生6名に「学業優秀賞」を授与しました。



本学附属病院において、業務に精励し、他の模範となるような活動に取り組んだ4グループに「医療功労賞」が、学術研究において著名な学術雑誌への掲載や特許の取得など、顕著な功績が認められた7名と1グループに「学術研究賞」を授与しました。



また、表彰式終了後には記念撮影を行い、閉式となりました。

本学では引き続き、高度医療人教育、先端医学研究、高度先進医療、地域医療の充実強化へ向けて邁進していきます。

## 令和7年度和歌山県立医科大学功績表彰 受賞者一覧

### 【学業優秀賞】

所属氏名		功績内容
金メダル	医学部6年生 面迫 佑菜	医学部に在籍した6年間又は保健看護学部 に在籍した4年間において、特に優秀な成績を修 めた。
	保健看護学部4年生 後藤 兼誠	
銀メダル	医学部6年生 今野 公介	
	保健看護学部4年生 田村 優唯	
銅メダル	医学部6年生 廣橋 尚依	
	保健看護学部4年生 岡室 愛友	

### 【医療功労賞】

グループ名	功績内容
血液内科 造血幹細胞移植コーディネーター	移植医療が円滑に行われるよう、医療関係者や関連機関との調整を行うとともに、患者やドナー及びそれぞれの家族の支援を行っている。
看護部 7階西病棟	心不全再入院抑制を目的とし、多職種が情報共有と包括的介入を実施できるよう、多職種連携心不全カンファレンスを開始するとともに、医療者と患者を繋ぐ「心不全手帳」を導入した。
看護部 8階東病棟	患者の食べる楽しみを支え、安全に食べ続けることのできる環境の構築を目指している。頭頸部癌手術後の患者に対して、摂食・嚥下機能の回復と日常生活の自立支援を目的に、認定看護師を中心として支援を行っている。
中央手術部 術後疼痛管理チーム	手術患者の術後疼痛及び術後の悪心嘔吐を軽減し、早期離床を促すことを目的に、多職種でチームを組織し回診を実施している。

## 【学術研究賞】

所属氏名又は グループ名	功績内容
医学部 解剖学第二講座・泌尿器科学講座	オンコスタチン M 受容体シグナリング制御による尿路結石の予防と治療が特許登録された。
医学部 健康管理センター 准教授 北野 尚美	自治体におけるこども達の健康情報（母子保健情報及び学校保健情報）の一元管理を可能にするシステム及び方法が特許登録された。
医学部 生理学第二講座 講師 稲葉 秀文	自己免疫性甲状腺疾患とがん免疫療法に伴う免疫関連有害事象の病態解明、早期診断及びがん免疫療法の最適化に関する研究で、日本甲状腺学会コスミック研究創成賞最優秀賞を受賞した。
医学部 生体調節機構研究部 講師 佐々木 泉	生体内マクロファージにおける細胞内タンパク質品質管理機構と炎症を誘導する機構の関係を明らかにした研究で、日本サイトカイン学会及び日本免疫毒性学会の奨励賞を受賞した。
医学部 解剖学第一講座 助教 伊藤 隆雄	胃エストロゲンが肝臓での脂肪の合成を、糖と脂肪の摂取量に応じて抑制することを明らかにした論文が Scientific Reports に掲載された。
医学部 救急集中治療医学講座 助教 村田 鎮優	日本の高齢住民を対象とした研究において、COVID-19 パンデミックによる生活変化が慢性腰痛の有病率の上昇をもたらした可能性を示した論文が Scientific Reports に掲載された。
薬学部 薬品化学研究室 助教 澤崎 鷹	糖尿病関連物質が化学反応を助けることを発見した論文が、Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America に掲載された。
薬学部 医療開発薬学研究室 助教 小柳 円花	末梢神経障害の研究に資する、髄鞘を有する新規 3 次元感覚神経オルガノイドの構築方法に関する論文が Cell Reports Methods に掲載された。